

JAしまねびより

2020

4

April
Vol.49

特集 島根の農産物のセールスマン

私たちが
販売戦略室です!



島根の
いいもの再発見!!

乳牛

[益田市]

詳細は6ページへ



JALしまね 隠岐地区本部版

topics 1

エコバッグ貸します！
「循環エコバッグ」で環境保護

JAしまねいわみ中央女性部弥栄が、浜田市弥栄町のAコープやさかで「循環エコバッグ」活動を始めました。エコバッグを忘れた来店者は、店舗にある女性部員が持ち寄ったエコバッグを使い、次の来店時に返却する仕組みです。

「うっかり忘れた」という人のため、「家にあるエコバッグが共有できるようになればいいな」と女性部員で考えたことが実現しました。

徳田マヌエ部長は「地域の人みんなで共有することで環境保護につなげていきたい」と意気込みを語ります。



循環エコバックを持つ弥栄女性部員

topics 2

新型コロナに負けるな！
「県産品応援デー」始めました

JAグループ島根は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費の減少が懸念される生産者の皆さんを応援するため、島根県と連携して「県産品応援デー」に取組んでいます。応援デーとして定めた毎週金曜日は、両組織の役員1万1,100人が県産品を積極的に購入します。本誌をご覧の皆さまにもぜひご賛同いただき、ともに県産品を応援しましょう！

【例えばこんなこと】

- ・牛乳をもう1本多く使って、家族で牛乳料理をもうもり食べます。
- ・金曜日には花を買ってゆとりのある週末を過ごします。
- ・県産牛肉、野菜、魚を買って家族で鍋を囲みます。



応援デーのチラシを持つJA職員

topics 3

JA島根厚生連
健康管理センターが開所しました

出雲市斐川町美南で建設していた、JA島根厚生連の健康管理センターが完成しました。

この健康管理センターは、人口減少・少子高齢化といった環境変化を見据え、従来から展開している「巡回型」の健診に加え「施設型」の健診を実施することで、JA組合員をはじめとする地域の皆さまのさらなる健康増進を目的としています。

「各種がん検診」を含む「総合健診」や要望の多い「新規検査」のほか、健康教室や研修会など、JAグループ島根厚生事業の情報発信拠点として多様な活動を行います。



島根の農産物のセールスマン

私たちが

販売戦略室

です！



斐川町にあるJAしまね営農経済本店を拠点に活動する

「販売戦略室」をご存知ですか？

今回の特集は、JAが自己改革に掲げる

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の達成に重要な役割を担う「販売戦略室」にスポットをあててご紹介します。



販売戦略室はいつからあるの？

平成30年3月に新設しました。当初は3人体制でスタートしましたが、現在は室長を含め4人体制で業務にあたっています。

統合前は県内の各JAが個別に取引先と農産物販売の交渉を行っていましたが、ひとつの地域で供給できる物量には限りがあるため、取引先からの需要に応えられないことがありました。そこで、地区本部・地域の垣根を無くして、「JAしまね」として交渉にあたるための窓口となるべく「販売戦略室」ができました。

どんなことをしているの？

県内で生産される農産物の、ビジネスチャンスや販売チャネル拡大の役割を担っています。

例えば契約栽培を始めとした直接取引では、業者からは「高品質」なモノを「均一」なレベルで「大量」に納品できるかを問われます。地域単位では応えることが難しいこうした要求も、島根県内の複数の産地で統一的な規格のモノの生産・出荷が可能となればクリアできます。販売戦略室は、「オールJAしまね」として島根産農産物売り込むため、生産現場での営農指導と販売を結びつける役割を果たしています。農産物販売のコーディネーターとイメージしてもらえれば分かりやすいかもしれません。

具体的には、営業活動の中で取引先の需要をキャッチすると、要望に応えるモノ、つまり「売

れるモノ」を生産・販売するためのワーキングチーム（以下、WT）を設置します。WTには地区本部や本店の関連部署、またJA関連会社の生産・流通・販売の担当者を参集し、期限を区切って集中的に対応を検討・実践します。販売戦略室はこのWTの企画、立案、進捗管理を行っています。もちろん単発で販売して終了ではありません。販売後は消費者からの評価を生産現場へフィードバックし、以降の取引量増加に向けて課題の改善を図ります。取引先を開拓することは重要な業務ですが、私たちは販路を作るだけでなく、「売れるモノを継続して生産できる仕組み」まで作って初めて成功だと考えています。

今後の目標は？

2019年度に開拓した取引先を中心に販売額の増加を図り、2021年度末には2018年度を基準に3億5千万円の販売額増を目指します。

2019年度は30を超える新規取引先への販売を開始しましたが、これからは個々の取引先との取引量を増やすため、「売れるモノ」の地域をまたがった産地拡大を進めます。例えばカボチャです。兵庫県にある野菜の大手総合商社への販路を開拓し、2019年度は試験栽培として4地区本部管内2.2haで栽培しました。収量はやや少なかったものの、品質は全国トップレベルの評価だったことを受け、増産の要望をいただきました。2020年度は各地区で栽培面積の拡大を図るとともに、新たな地区での栽培も始め、5.4haの栽培を予定しています。将来的には県内全体



井戸敬洋職員



とに取組みました！

大手外食産業へ精米を供給

島根県内の大手回転ずしチェーン店やレストランチェーン店への精米供給を開始しました。

外食産業のほか中食産業も需要が伸びる見込みの産業であり、多収穫米の販売先として期待しています。

2020年度は11月からの鳥取エリアへの供給に向けて、現在商談を進めています。



古瀬仁美職員



島根の農産物を
売り込みます！

販売戦略室 室長
須山 一



J Aしまねは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの柱を戦略に盛り込み自己改革の実現に向けて取り組んでいます。販売戦略室は、地区本部単位の販売に広がりを持たせるため、県内産品のビジネスチャンスや販売チャネルの拡大の役割を担う目的で設けられました。

J Aしまねの野菜販売チャネルは、全体的には卸売市場への一元的な販売から、直接販売等を含めたより多角的な販売へと変化しつつあります。儲かる農業の実現に向けて、担い手経営体のニーズに応える個別対応を強化し、マーケットインに基づく生産・販売方式への転換を図り、付加価値の増大と新たな市場開拓へ挑戦していきます。

最後に、J Aとは、相互扶助の精神のもと農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された事業体です。販売戦略室の使命として、農家と消費者をつなぐ「食の架け橋」となり、未来の豊かな生き方、地域づくりに貢献し、農業者が営農活動から得る「よろこんでもらえるよろこび」を感じてもらえる、そんな島根の地域を目指します。

で20haを目指しています。このカボチャは「売れるモノ」にするため、出荷時期を他産地と他産地の隙間となる7月の短期間で統一しています。これは、島根県内の一般的な慣行栽培と比べて1ヵ月程度早いので、生産者の皆さんにはこれまでにない手間や作業をお願いしていますが、県農業技術センターの協力を受けながら営農指導と一体となった「モノづくり」を進めます。

また新規取引先の開拓としては、北海道市場に注目しています。道内の取引先からは島根の特産品の一つである柿やワサビなど、北海道では生産されていない農産物への問い合わせがありますので、販路拡大の可能性が大いにあります。

今後取引先ニーズはもちろん、食の安全や国産志向など常に変化する消費者のニーズを見据え

3カ年計画に基づく販売計画



た生産を提案していきます。そして「企画↓生産↓評価↓改善↓生産↓…」のサイクルを回し、販売を起点とした「モノづくり」を実践します。



永瀬英昭職員



2019年度はこんなこ

島根産小豆の販売

新しい地域特産品として、高収益作物である小豆の生産に着手し、大手穀物問屋との契約産地化に向けた商談を進めました。

今後は取引の継続と島根産小豆のブランド確立に向けて、栽培体系の早期確立とブランド振興策を、行政機関と連携して進めていきます。



大手コンビニチェーン向け

年々人気が高まり、全国的にも増産傾向にあるシャインマスカット。島根産シャインマスカットは、他産地に先駆けて市場外流通のひとつとしてコンビニ業界に進出しました。

「しまねっこ」ラベルを貼付して島根ぶどうの品質の良さをPRしたところ、関東・関西など大消費地を中心に50,000パックを納品する大ヒット商品となりました。



島根には誇れる
農産品がた一つくさん!
**島根のいいもの
再発見!!**

[直撃・生産者インタビュー]

益田市

乳牛

4月は、西いわみ地区本部。益田市で乳牛の飼育に取り組む株式会社メイプル牧場・取締役役場長の渡邊智章さんにお話を伺ってききました。



お話を伺いました
渡邊智章さん。

異業種と手を組み合い、皆がプラスに

益田市に拠点を置く株式会社メイプル牧場は、地元で肉牛の肥育を行なっている株式会社松永牧場のグループ会社として平成17年に設立されました。メイプルとは、カナダでよく見られる楓のことで、赤ちゃんの手のひらという意味もあります。「子どもたちに飲んでもらいたい牛乳」を届けることをモットーに異業種の5名が集まって立ち上げた事業であり、その協調のシンボルとしてもこの名前が付けられました。中でも、動物診療所がグループ企業として連携していることは全国的にも非常に珍しく、病気の治療はもちろん牧場全体のコンサルタントを担い、エサの設計や経営にも携わっています。その他にも木材のチップを作る会社とも連携し、木の破砕くずを牛の敷物にするなど、様々な業種の企業が支え合いグループ全体がプラスになるような関係を築いています。

西日本屈指の大牧場へ発展

メイプル牧場設立当時は、全国的に牛乳が余り生産調整が行われていた時代。そんな中でも、将来を見据えて大規模な牧場を新設しました。その後、制限は解除され、どんどん生乳の出荷を増量していき、現在は年間

1万2千トンの出荷量を誇る西日本でも屈指の大牧場に発展しました。

牧場には、乳牛、F1（交雑種）、黒毛牛の3種類合わせて約2千頭の牛がいます。このうち、乳牛のメスは残し、種付けをして出産させ、ミルクを搾ります。ここでは酪農はもちろん、松永牧場に肉牛のF1、黒毛牛の子牛を供給することも目的としていて、繁殖・飼養にも力を入れています。子牛は西部家畜市場へ出荷され、その多くが松永牧場へと渡ります。グループ会社だからと言って直接取引するのではなく、一度市場を経由することによって、市場の活性化にもつながっています。

毎日徹底されている乳質管理

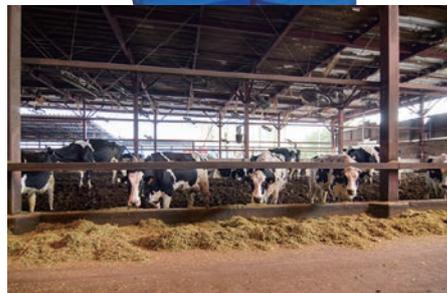
メイプル牧場では、乳牛に対し採食量の管理をきっちり行い、健康な牛を育てています。牧場が設立された当初、世界初の乳質管理改善システムを導入。朝、夕の搾乳時に一頭ずつの脂肪、体細胞、血液量を瞬時に計測確認できます。これらのデータからほぼ同レベルの数値の牛たちを20の部屋に分け、専属の獣医のもとカロリーや糖質などを細かく計算されたエサを与えています。それぞれの状態に合ったエサや添加剤をコントロールしていくことで、毎日厳しい乳質管理を行っています。実は、一年中同じ乳質を保つことは難しく、特に夏になる



「朝早くから従業員みんなが頑張っています」と語る渡邊さん。



新型のロボット式パーラー。ほぼ自動で搾乳が完了する。



ヒートストレスを軽減するために屋根が高く設計されている。天井に溜まったガスを大型の扇風機で同じ方向に流していく。



今後も「子どもたちに飲んでもらいたい牛乳」を届ける。



機器によって、自動的に搾乳される。



搾乳時に、画面で一頭一頭の状態を確認できる。

と脂肪分が低下していきます。また、牛が暑さに弱いことから、乳房炎という病気にかかりやすくなるため、それらの対策としてもエサの中身の割合が重要になってきます。今の時代は「治療するのではなく、予防することが大事」と言われています。病気になつてから治すのではなく、病気になるないようにどう注意するか。そのためにグループ企業が連携し、全力で牛の体調管理に気を配っています。

新型のロボット式パーラーの導入

2019年に新しく稼働を始めたグループ会社の「浜田メイプル牧場」では、国内で2番目となる新型のロボット式パーラーを2機使用し、約800頭の乳牛の搾乳を行っています。大きな円形の土台に牛が乗ると、自動的に搾乳機器が付けられ搾乳が始まります。下の土台がメリーゴーランドのように一周する間(約15分間)に決まった量を搾乳できていると、機器が外れ、出口から牛が出て行くという画期的なシステム。ほぼ人の手を借りず搾乳できるようになったため、女性一人でもオペレーションすることができるよう。このように、最新機器の導入で時間と労働力の削減が可能となりました。

年中無休で稼働する牧場

現在従業員はパートやベトナムからの実習生を含め38名。2交代制でシフトを組み、早朝から夜遅くまで搾乳をはじめ、牛の世話や牛舎清掃などの作業をこなしています。盆や正月などにまとまった休みを取ることは難しいですが、それでも従業員みんなが真摯に仕事に取り組んでいます。「子牛に対しては自分の子どもを見るように十分注意しながら面倒をみてほしい」と語る渡邊さん。それくらい、牛の病気や変化に細心の注意を払うように指導しています。その分、元気な子牛が産まれた時には今までの努力が報われるほど嬉しいそう。「みんなが本当に頑張ってくれています。どこでも通用するくらいの技術を身につけているのでとても頼もしいです」と笑顔を見せる渡邊さん。牛の命や安全に関わることは徹底的

に厳しく教育しつつも、従業員と築かれた深い信頼関係が伺えます。

地域の方々と共に成長していく

畜産という業態はにおいやカラス、汚水などの問題からすべての地域住民から理解を得られているとは言い難い現実があります。そこで、メイプル牧場では地域の人たちに受け入れてもらうためにも、様々な行事や祭りに積極的に参加し、アイスクリームの販売や牛乳の無料試飲などを行いながら少しずつ地域との距離を縮め、畜産業への理解を深めてもらえるよう取り組んでいます。また、地元の小学校の子どもたちを迎え、子牛にミルクをあげる体験や、写生大会などを実施。子どもたちにとっても牛とのふれあいを通して貴重な体験に役立っています。今後も、メイプル牧場は地域も企業も笑顔になれるようお互いに支え合いながら、最大の目的である美味しい牛乳を皆さんに届けるべく、日々前向きに努力し続けています。

一口メモ

年間1万2千トンの生乳を出荷するメイプル牧場の主な出荷先は、地元の加工会社や県外の大手飲料メーカーなど。地元でいちばん売れ行きが良く評判なのが「メイプル牧場牛乳」という商品。益田市に本社がある地元スーパーの「キヌヤ」が商品化し、販売しています。メイプル牧場で搾られた生乳を100%使用し、甘くて美味しい牛乳を家庭に届けています。また、グループ会社でもある「楓ジェラート」のアイスクリームはメイプル牧場産のミルクを使用。島根の素材をたっぷり使用し、こだわりの味を提供しています。





JAしまね女性部

平成29年に県内の女性部が一つとなり、JAしまね女性部が誕生しました。JAを拠り所として「食」と「農」を基軸に、くらしをまもる活動等を展開し、これまで以上に魅力ある活動の輪を広げています。

昨年度より「JA女性 地域で輝け50万パワー☆」をJAしまね女性部3カ年計画に掲げ、県内の部員が一丸となって地域で輝くための活動を実践しています。

その中でも、近年頻発する災害に対する備えを学習テーマとした「JAしまね女性部研修会」では、日用品で作る防災グッズ講習や、非常時に行う炊き出しを実践し、誰もが安心して暮らせる地域づくり活動につながりました。

また、介護予防運動や料理教室など、誰もが気軽に楽しく参加できる活動を通じて、仲間との交流をはかっています。



一所懸命青年連盟



JA YOUTH

JAしまね石見銀山青年連盟

小野 健さん
おの たけし



JAしまね石見銀山青年連盟（以下、農青連）に加入している小野健さん（35）は大田市鳥井町で約60aの面積でぶどう栽培を行っています。

祖父の代から続くぶどう農家出身の小野さんは就農して11年目になります。

「子供の頃からぶどう栽培を手伝う中で、漠然と将来はぶどう農家になると思っていた」という小野さん。

ぶどう栽培の魅力を聞くと「作物が育つ過程を見ることが一番の楽しみ。品質の良いぶどうができれば達成感が湧く」と熱い思いを語ってくれます。

小野さんは農青連に加入して2年目で、現在は役員も務めています。

「他の生産者との関わりができて、いい刺激をもらっている」というお話のとおり、農青連で食農体験活動やポン菓子加工など地域振興のため様々な活動に参加しています。

今後の農青連での抱負を聞くと「盟友のみんなが仲良く、無理なく、集まって楽しく活動することが大切」と話してくれました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

エダマメ

肥料は控えめに

大豆を未熟のうちに収穫するのがエダマメ。タンパク質、ビタミンA、Cを多く含み、ビールのおつまみとして夏の栄養補給に最適です。



園芸研究家 ● 成松次郎

元から切り取り、2本立ちにします。

気温が低い時期や鳥害を避けるためには育苗する方法もあります。この場合、直径7.5～9cmのポットに3～4粒まき、初生葉がそろそろ頃の間引いて2本残し、本葉2枚頃まで育苗します(図3)。

病害虫の防除

高温期にはカメムシ類が発生し、さやに付くと落下します。開花期にスミチオン乳剤、トレボン乳剤などの登録農薬で防除します。

収穫

さやが膨らんで、指で押さえるとはじけるようになれば収穫期で、開花後から30～35日です。株ごと引き抜いて収穫します。収穫適期は3～5日と短いため、同じ品種なら時期をずらして2～3回に分けて種まきすると、長く収穫を楽しめます。

品 種

一般には早生品種を使い、「おつな姫」(サカタのタネ)、「サッポロミドリ」(雪印種苗)などがあります。風味の良い茶豆では「湯あがり娘」(カネコ種苗)など、黒豆も人気で「濃姫」(タキイ種苗)などがあります。

畑の準備

種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、よく耕しておきます。1週間前に化成肥料(NPK各成分で10%)100gと堆肥1～2kgを施し、よく混ぜ込んでおきます。その後、畝幅70～80cm、高さ5cm程度の栽培床(ベッド)を作り、黒色のマルチを張ります(図1)。

図1 ベッド作り

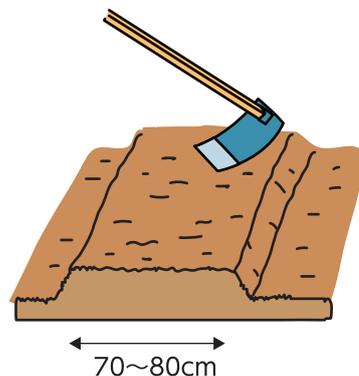


図2 種まき

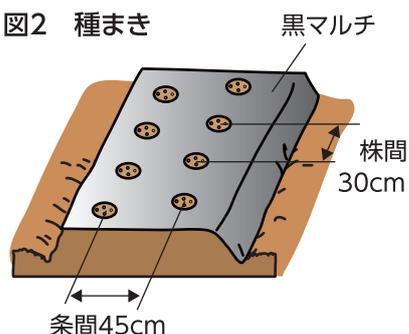


図3 ポット育苗

種まき7.5～9cm



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



営農技術情報

連作障害を防ぐ

美味しい野菜を作るにはしっかりと計画を立てることが第一です。
 基本的なことですが、同じ場所で同じ科の野菜を続けて栽培すると、その科特有の土壌病害虫や生理障害など連作障害を起こしやすくなったりします。
 土壌消毒などをしないで連作障害を防ぐには異なる科の野菜を輪作することが有効です。
 特に人気が高いナス科やウリ科は、無計画に栽培するとローテーションがうまくいかなくなりますので、計画的に作付けを行いましょう。

輪作の目安

4～5年開ける	3～4年開ける	2～3年開ける	1～2年開ける
サトイモ・スイカ トマト・メロンなど	エンドウ・ソラマメ ハクサイ・ピーマンなど	エダマメ・キュウリ ジャガイモ・ゴボウなど	カブ・キャベツ ブロッコリーなど

農機センター 繁忙期対応について

農機センターでは繁忙期の対応として、**5月1日(金)～5月29日(金)**の間、すべての土曜・日曜・祝祭日を営業いたしますのでご利用ください。なお、営業時間は、平日営業日と同様の**8時30分～17時00分**となります。



【お問い合わせ先】
 隠岐地区本部 経済部農機課
 Tel 08512-2-1265

組員・利用者の皆様へ

連休期間中の経済課営業について

肥料、農薬等の販売につきまして、**5月2日(土)～5月6日(水)**の期間、下記営業予定表のとおり営業いたしますので、ご利用いただきますようご案内申し上げます。なお、各支店・店においては営業いたしませんのでご了承ください。

…………… 営業予定表 ……………

月 日	5月2日(土)	5月3日(日)	5月4日(月)	5月5日(火)	5月6日(水)
営業時間	8:30～ 12:00	8:30～ 12:00	8:30～ 12:00	8:30～ 12:00	8:30～ 12:00

※経済課（隠岐の島町城北町151番地）のみの営業となりますので、**各支店・店においては営業していません。**

【お問い合わせ先】
 隠岐地区本部 経済部経済課 Tel 08512-2-1133

Q. 稲発酵粗飼料のWCS（ホールクロップサイレージ）について、個人刈取りとJA刈取りで

A. 現在、給食センターへ出荷している生産者からも出荷基準が厳しいとの意見もいただいている。今後、給食センターや隠岐の島町とも調整をしていきます。

Q. 地元で生産された野菜を給食センターへ出荷する際の規格が厳しく、今後、こういった地産地消の取り組みに支障がでるのではないかと？

A. 現在、給食センターへ出荷している生産者から地元の規格が厳しく、今後、こういった地産地消の取り組みに支障がでるのではないかと？

Q. NOSA1島根が取り扱っている水稲共済にかかる損害認定基準について、現行方式である一筆方式はいつから変更となるのか？

A. 水稲共済の一筆方式は、法改正により令和4年産から廃止となります。NOSA1では一筆方式のほかに農家単位で収穫量を補填する全相殺方式や半相殺方式があります。全相殺方式と半相殺方式は一筆方式よりも補償割合が高く設定されているので、豪雨災害や天候不順など耕作されるほ場全体で被害があった場合、より大きな補償を受けることができます。

Q. NOSA1島根が取り扱っている水稲共済にかかる損害認定基準について、現行方式である一筆方式はいつから変更となるのか？

A. 水稲共済の一筆方式は、法改正により令和4年産から廃止となります。NOSA1では一筆方式のほかに農家単位で収穫量を補填する全相殺方式や半相殺方式があります。全相殺方式と半相殺方式は一筆方式よりも補償割合が高く設定されているので、豪雨災害や天候不順など耕作されるほ場全体で被害があった場合、より大きな補償を受けることができます。

平成2年営農座談会Q&A

隠岐地区本部では、2月10日(月)から14日(金)までの平日4日間、「令和2年営農座談会」を管内20会場で開催しました。座談会の中でご質問のあった事項につきましてご回答をいたします。

営農情報

A. 収穫量の差が大きいのはなぜか？
刈取りに使用する機械性能の違いからだと考えられます。

Q. 白小豆について、買取り単価が20年以上も据え置きとなつているが、近年の天候不順等により収量もとれなくなつてきている中、価格を交渉してほしい。

A. 隠岐地区本部は、取引先を毎年訪問していますので、今後その中で交渉をしていきます。

Q. 国が設定する主食用米の生産数量目標が令和元年産からなくなつたが、大きな産地が過大に作付けし、需給バランスが崩れ、価格崩壊が起こるのではないかと心配。

A. 生産数量目標や他の取り組みにおいても、JAは全国組織なので、過剰作付けが起こらないような働きかけ、仕組みを作っていく必要があるのではないかと。

A. 国の生産数量目標の設定は無いが、JAしまねとしては過剰作付けとならないように協議を行つており、島根県農業再生協議会とも連携し県内の作付け数量目標について今後も協議を行つていきます。

Q. 主食用米とWCSの需給バランスなどを把握し、需要に応じて作付け調整やWCSの拡大ができるよう考え方を整理する必要があるのか。

ではないかと。

また、需要に応じた生産をするためWCSやそば刈りのコンバインなども昨年は修理が多く、作業が中断することも多かつたと聞く。今後推進するにあたり、そのような機械についても更新する必要もあるのではないかと。

A. 需給状況を把握し、生産調整をしていく必要があると考えるが、現在のところ調整が出来ていないのが現状です。今後、生産者、隠岐の島町地域農業再生協議会、JA等の関係機関で協議をしていきます。

A. 令和元年産の収穫において、機械の老朽化による故障が発生し、作業が中断することがありました。機械の更新については、今後検討いたします。

Q. 稲作こよみに、水稻栽培において「けい酸加里」は春起こしのときか中間追肥の時期に施用するところか、施用するとすればどちらが良いのか？

A. 春起こしの時期に元肥肥料を施用していない場合には、春起こしの時期に施用をしていただければと思います。また、春起こしの時期に元肥肥料を施用している場合には、中間追肥の時期に施用をしていただければ良いと思います。

Q. 収入保険制度の発動基準にかかわる基準収入の算出方法は？

A. 過去5年間の平均収入額を基本とし、加入する年度の作付け計画が加味され算出されます。

Q. 廃プラスチック、廃農薬の回収時期はいつか？

A. 令和3年2月～3月を予定しています。

Q. 水稻栽培において藻類の防除に苦労しているが、なにか対策はないか？

A. 田植え後の水温を上げないようすることが重要です。また、除草剤としてはモゲトン粒剤があります。

Q. 農地の貸借についての窓口はどこになるのか？

A. 隠岐の島町農林振興課内の農業委員会または隠岐の島町農業公社が窓口となります。

Q. 農業リスク診断の窓口はどこになるのか？

A. 隠岐地区本部の経済課が窓口となります。

Q. 初設の活用方法は何かないのか？

A. 畑等へ使用し、土壌改良として使用できます。



(報告／経済課)

隠岐の島町での大型特殊免許(農耕作業車限定)取得について

道路運送車両法の基準緩和によって、一定条件を満たした状態に限りトラクタに作業機(ロータリー・ハロー等、けん引式でないもの)を付けたまままで公道を走行することが可能となりました。

ただし普通自動車免許(小型特殊免許)で運転可能なトラクタでも、作業機の幅が1.7mを超えると大型特殊免許が必要となります。また、作業機を装着した場合トラクタに付いている灯火器類が視認できる、作業機を装着した状態で1.7mを超える場合トラクタ機体両側にサイドミラーを装着するなど、一定の要件を満たす必要があります。

右記の基準緩和に対し、JAしまね隠岐地区本部では、隠岐自動車練習場で6月から月に1回(概ね2～3名)「大型特殊免許(農耕車限定)」取得が出来るように関係機関との調整を行っています。

免許取得を検討したい、またこのことについて詳しく聞きたい、などありましたら左記までお問い合わせ下さい。

JAしまね隠岐地区本部経済課

TEL 085121-21133

(報告／経済課)

JANNEWS

J A女子大学隠岐キャンパス
卒業式



3月15日(日)にJ A女子大学隠岐キャンパスの卒業式をホテル海音里において執り行いました。当女子大学は、一昨年春に第1期となるJ A女子大学を開校し、隠岐ジオパーク研修を皮切りに健康料理教室、隠岐そば打ち体験など、これまで10回の講座を開催し学んで参りました。

卒業式では、学長である隠岐地区本部佐々木本部長より生徒全員に卒業証書が手渡され、減多に経験することがない卒業証書の授受に少し気恥ずかしそうに受け取っていました。また、卒業式の中で卒業記念品をつくることを目的に、サラダ館西郷店の石川さんを講師にハーバリウム作りを行い、最後の思い出づくりをしました。

卒業式後、同会場
で謝恩会を開き、食事をしながらこれまでの活動の思い出などを語りました。

隠岐地区本部では、今後も継続実施を予定しており、第2期の開校を予定しています。



(報告／企画総務課)

地域農業にかかわる意見交換会の開催

隠岐の島町農政会議は、令和2年2月28日、隠岐の島町議会議員との意見交換会を開催しました。意見交換会は地域農業者の農業に関する意見・要望等について農業政策へ反映をしていただくことを目的としており、隠岐の島町議会から7名の議員の皆様にご出席いただきました。

意見交換会では、初めにJ Aしまね隠岐地区本部の経済部長より農業を取り巻く近況の報告をさせていただきました。その後隠岐の島町農政会議より地域の農業者からの意見・要望などを進言し、地域農業の発展に向けた意見交換を行いました。

以下、意見交換での主な議題・要望



① 隠岐の島町の主要な産業である畜産経営をしていく上で、餌やり、体調管理など飼養管理は毎日欠かすことができず、そのため行事ム議・研修等への参加やまた疾病による療養、リフレックス休暇などの休暇が取得できないことで大きな負担となっている。また、新規担い手の掘り起こしにも影響がある。

【要望内容】

- ・ヘルパー制度の導入
 - ・労働力の省力化のための牧野整備
 - ・隠岐牛のブランド化や販売促進のためのPR活動
 - ・担い手確保のための補助金の拡充
- ② 隠岐の島町内の大型農家は高齢化が進み、また後継者不足となつて懸念される。農業担い手の確保は喫緊の課題。

【要望内容】

- ・官民一体となった取り組みを真剣に進める。
- ・国の補助事業が年々縮小される中、新規就農、規模拡大農家への隠岐の島町独自の支援
- ・水稲農家の省力化のためのパイプライン整備
- ・地産地消をすすめるため、学校給食や福祉施設での地場産農産物が利用できるよう整備していただきたい。
- ・農業収入の向上を図るため、農産品のブランド化を積極的にすすめる、関係機関が情報共有する中で、販売促進等積極的に行っていただきたい。

(報告／企画総務課)

隠岐地区本部運営委員会情報

令和2年3月24日(火)に開催の隠岐地区本部運営委員会にて協議された主な議題および報告事項は次の通りです。

【協議事項】

- 1) 隠岐地区本部事業改革検討委員会の委員の決定について
前回の運営委員会の中で、令和4年にかけて運営が厳しくなることを受け、隠岐地区本部でも事業改革に取り組む必要があることから、事業改革検討委員会を設けて検討を進めることとしていた。また、本委員会の中で、検討委員会の委員の選出をすることとしていた。
- 2) 隠岐地区本部事業改革検討委員会スケジュールについて

【報告事項】

- 1) 令和2年営農座談会の実施報告について
- 2) 令和2年3月西郷家畜市場の市況について
- 3) 年金友の会「楽・楽」感謝祭の開催延期について
- 4) 令和元年度2月末決算及び令和元年度決算見込みについて
- 5) 令和2年度事業計画について
- 6) 隠岐地区本部職員の退職・異動・採用について
- 7) 理事会報告
- 8) 経過報告(令和2年2月～3月)
- 9) 隠岐地区本部2月末実績状況報告

【決定事項】

- 1) 隠岐地区本部事業改革検討委員会の決定について
隠岐地区本部事業改革検討委員として次のものを選出
・ 遠藤義光委員 ・ 田中恵吉委員 ・ 佐々木正人委員
・ 村上淳一委員 ・ 辰野光夫委員 ・ 藤田ヤヨイ委員
・ 山崎泰郎委員
- 2) 隠岐地区本部事業改革検討委員会スケジュールの決定について
① 令和2年4月～6月……………検討開始
② 令和2年7月……………運営委員会へ中間報告
③ 令和2年8月～10月……………継続検討
④ 令和2年11月……………事業改革案を運営委員会で決定
⑤ 令和2年12月～令和3年3月……………事業改革準備、事業計画作成、本店への通知・承認
⑥ 令和3年4月……………事業改革準備及び実施

(報告／企画総務課)

隠岐島後地域標準農作業料金及び加工料金表

作業種目		単位	標準賃金	備考
耕起代掻	荒 起 し	10a	7,000円	すき起こしは1,000円割り増しとする。 代掻きはディスクハロー
	ロータリー (荒代)	10a	8,000円	
	代 掻 き	10a	6,000円	
	耕 起 ~ 代 掻	10a	20,000円	
育苗	発 芽 苗	1箱	600円	種籾持込委託者の場合は100円割引とする。
	硬 化 苗	1箱	1,100円	
田植	一 般	10a	8,000円	機械植えで、苗、肥料、角植え、補植は委託者
	側 条	10a	8,500円	
稲刈	バ イ ン ダ ー	10a	10,000円	ひも、角刈り含む。
	コ ン バ イ ン	10a	21,000円	運搬含む。
脱穀	脱 穀	10a	8,000円	ハデ乾燥 補助者は委託者
	生 脱 穀	1斗	200円	
	生 脱 穀	10a	12,000円	
乾燥	乾 燥 か ら 玄 米	玄米30kg	800円	水分18%未満
		玄米30kg	1,000円	水分18%~25%未満
		玄米30kg	1,150円	水分25%以上
	も み 乾 燥	もみ25kg	350円	水分18%未満
		もみ25kg	550円	水分18%~25%未満
		もみ25kg	700円	水分25%以上
防 除	10a	2,300円		
無 人 ヘ リ 防 除	10a	3,600円	無人ヘリコプター (農薬込み)	
加工料金	も み す り	30kg	560円	
	色 彩 選 別	30kg	300円	色彩選別のみ (ラインで通す場合は200円)
	精 米	30kg	660円	
	製 粉	30kg	5,500円	
畑 地 ロ ー タ リ ー	10a	10,000円	普通畑、転作田	
そ ば 刈 り	10a	10,000円	乾燥 1kg 40円	
草 刈 り	1時間	1,500円	機械・燃料費込み	
畦 塗 り	1m	60円	機械作業	
農 作 業 労 賃	1日 (8時間)		7,000円	一般作業
			10,000円	オペレーター

※この賃金表は平成31年4月1日から適用している料金表です。令和2年産についても変更がありません。

※料金表は指標ですので、詳細は委託者と受託者で協議の上決定してください。

※この料金表には消費税は含まれていません。

※30kg = 2斗 (1斗の場合は15kgなので標準賃金 ÷ 2)

🍀🍀🍀 お便りコーナー 🍀🍀🍀

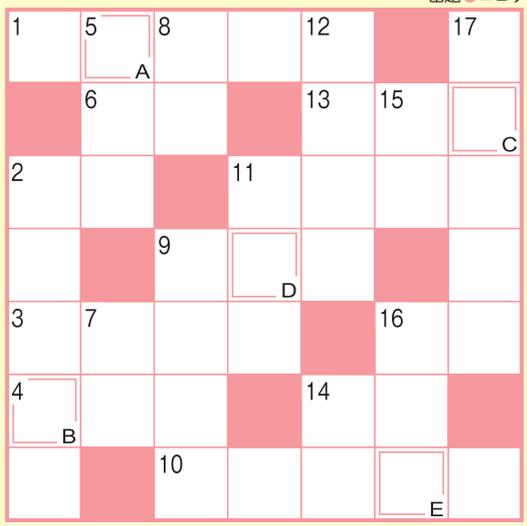
～ 読者の皆様のご意見・ご感想をご紹介します ～

・先月号JAしまねびよりの記事で、旧ライスセンターの跡地利用を検討する記事があり、道路端に古い建物で目立っていますので期待しています。 (上西・Hさん)

～ たくさんのお便りお待ちしております ～

CrossWord
クロスワード
パズル
Puzzle

二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D	E

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ② 知事選の期日前——に行ってきた
- ⑤ 耳は聴覚、鼻は嗅覚、目は
- ⑦ ゾウやライオンを数えるときに
使う言葉
- ⑧ 大きな口を持つ爬虫(はちゅう)
類
- ⑨ 往年のヒット曲『——のハワイ
航路』
- ⑪ 武者人形はかぶっていることが
多い
- ⑫ 茶畑で行う収穫作業
- ⑭ 数え年70歳のお祝いです
- ⑮ アシカやオットセイより大きな
海獣
- ⑯ 飛行機で物を運ぶこと
- ⑰ 田畑を耕す農耕機械

ヨコのカギ

- ① 端午の節句に食べる和菓子
- ② 損の反対語
- ③ あの人、いい人なんだけど、
——多いんだよなあ
- ④ 邦画ではありません
- ⑥ シオマネキやガザミはこの仲間
- ⑨ 馬具の一つ。足を掛けます
- ⑩ 春の大型——をゴールデンウ
イークといいます
- ⑫ クラブ——、救援——、——写
真
- ⑬ 与党と対立することが多い
- ⑭ たくと良い香りがします
- ⑰ アスバラガスは主にこの部分を
食べます

応募要項

- 応募方法
ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、
下記宛先にお送りください。
- 賞品
正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切
〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
2020年5月7日（木）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆



JAしまねびより

「俳句の広場」「川柳の広場」

がスタートします！

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集します。
優秀句（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）は5月号
より誌面でご紹介！たくさんのご応募お待ちしております。

奇数月は【俳句の広場】 選者は安食 彰彦先生
4月、6月、8月、10月、12月、2月の各15日を締切として、
翌月のJAしまねびよりにて入賞作品を発表します。

偶数月は【川柳の広場】 選者は竹治ちかし先生
5月、7月、9月、11月、1月、3月の各15日を締切として、
翌月のJAしまねびよりにて入賞作品を発表します。

最優秀賞、優秀賞の4名様には
「JA商品券1,000円分」をお贈りします。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、
電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、
Eメールのいずれかでご応募ください。
※1回のご応募につきお一人様3句まで
ご応募いただけます。
※応募作品は自作で未発表のものに限り
ます。
※応募作品の一切の権利は、JAしまね
に帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）
を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-35-9045
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

作業機を装着したトラクタで公道走行が可能となりました！

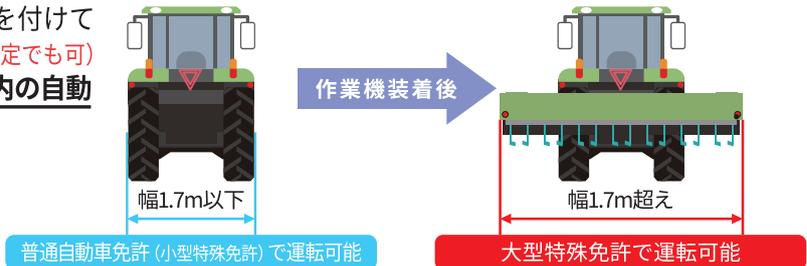
道路運送車両法の基準緩和によって、**一定条件を満たした状態に限り**トラクタに作業機（ロータリー・ハロー等、けん引式でないもの）を付けたままで公道を走行することが可能となりました。

適切な運転免許証をお持ちですか？

作業機の幅によって必要な運転免許が変わります

作業機本体の幅が**1.7mを超える**作業機を付けて公道を走行する場合、**大型特殊免許**（農耕限定でも可）が必要となります。**大型特殊免許は、県内の自動車教習所等で取得することができます。**

普通自動車免許（小型特殊免許）で運転可能なトラクタでも、**作業機の幅が1.7mを超えると大型特殊免許が必要**となるので注意！



※耕うん幅ではなく**作業機全体の幅**です。
※普通自動車免許を取得していれば、小型特殊免許取得の必要はありません。

作業機を装着したトラクタの公道走行については、免許の確認（取得）の他各種灯火類の確認や車両幅の確認、安全性の確認が必要です。トラクタ・作業機を保有するご自身で諸条件を十分ご確認いただき、法令を守って走行して下さい。また、ご不明な点がございましたら、お近くのJA 営農担当部署、農機担当部署までお問い合わせください。

島根をもっと元気にしたい ～一緒にJAで働きませんか～

JALしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、組合員はもとより県民そして次世代を担う若者・子どもたちとともに、大地の恵みと食文化の尊さを継承していきます。

「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- 地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- 水と緑を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- [し] ……組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- [ま] ……組合員・利用者の満足、一番をめざします
- [ね] ……仕事への熱意、一番をめざします



JALしまね 令和3年4月 採用職員募集のご案内

- 募集職種** 正職員（総合職）
- 募集区分** 本店採用（転居を伴う配置の可能性があります）、地区本部採用（原則転居を伴う配置はありません）
- 応募資格** ①令和3年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 採用予定** 若干名
- 提出書類** 履歴書（JA指定）、卒業見込証明書または卒業証明書、学業成績証明書、受験票添付写真1枚（タテ4cm×ヨコ3cm、6ヶ月以内撮影）
- 受付期間** 令和2年4月1日（水）～5月8日（金）期間内必着
- 選考方法** 筆記試験、面接試験、小論文試験（一次選考・令和2年6月実施予定）
- 応募方法** マイナビ2021よりエントリーのうえ、提出書類を受付期間内に下記まで郵送または持参にてご提出ください。

※採用条件など詳しくはJALしまねHPまたは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先（書類提出先）

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1
JALしまね 総務部 人事課
担当：太田、上原
TEL：0852-35-9016
FAX：0852-35-9024
ホームページ
<http://ja-shimane.jp/>
E-mail
jijin.hon@ja-shimane.gr.jp



マイナビ2021

マイナビでエントリー受付中



JALしまね 島根県農業協同組合



しまねうれしび



今月号から島根県家の光講師、飯塚生美子先生に季節のレシピをご紹介します！

新玉ねぎでライスサラダ



・新玉ねぎならではの甘さを生かした一品！
・野菜たっぷり、砂糖不使用。血糖値が気になる方におすすめです。
・レタスに包んでサラダ巻き寿司風にもなります。

●材料（4人分）

ご飯……………400g	オリーブ油…大さじ2	カニかまぼこ……4本
新たまねぎ……1玉	酢……………大さじ4	青じそ……………2枚
パプリカ（赤）1/4個	コンソメ(顆粒)小さじ2	レタス……………適量
A パプリカ（黄）1/4個	カレー粉……小さじ1	
きゅうり…………1本	塩こしょう……少々	
プロセスチーズ…3個		

●作り方

- ①Aの材料を全部5ミリ角に切る。
- ②大き目のボウルにBを入れてよく混ぜ合わせドレッシングを作り、その中に①の材料を全部加えてひと混ぜする。
- ③②のボウルにご飯を加え、しゃもじで切るようにして混ぜ合わせる。
- ④器にレタスを敷いてその上に③を中高く盛り、ほぐしたカニかまぼことせん切りにした青じそを飾る。

アレンジ

- ・チーズの苦手な方は、ハム、焼き豚、ツナ缶等に変えてもおいしいです。
- ・カレー粉無しでもおいしくできます。
- ・市販のお好みのドレッシングを使ってもおいしくできます。
- ・盛り付ける具材はゆで卵や海鮮、アスパラ、スナップエンドウもおすすすめです。

新じゃがのガレット



・じゃが芋のでんぷん質で焼き固めるので、切ってから水にさらすと固まりにくくなります。
・なるべく細く切るとまとまりやすいです。
・おやつやおつまみにどうぞ！

●材料（直径20cmサイズ1枚分）

じゃが芋 2個(250g)	オリーブ油……大さじ1
A 片栗粉……………大さじ1	ケチャップ……お好みで
ピザ用チーズ… 40g	
塩こしょう……少々	

●作り方

- ①じゃが芋は皮付きのまま洗いなるべく細いせん切りにする。
- ②ボウルにAの材料を入れて混ぜ合わせる。
- ③フライパンにオリーブ油をひいて中火で熱し、②を全部入れ、均等な厚さになるよう広げ、フライ返しでしっかり押し固めて焼く。
- ④5分くらい焼いたら裏返し（いったん皿に出してからひっくり返すと出しやすいです）、さらに3分押し焼きして両面に焼き色を付ける。
- ⑤器に盛り、食べ易い大きさに切り分ける。
- ⑥好みでケチャップをつけて食べる。

アレンジ

- ・カレー粉を加えて焼いてもOK!
- ・ブラックペッパーを振ると大人味に。

健康散歩

けんこうさんぽ



玄米を活用してみませんか？

気候がすっかり春らしくなり、新しいスタートを切る人が多いかと思えます。気持ちも新たに体力もしっかりとつけていきたいところです。

私たちにとって炭水化物は主食として健康を支えてきた大切なエネルギー源ですので、きちんと摂取したいものです。そこで、今回はお米の中でも栄養価の高い、玄米についてご紹介します。

玄米とは、白米を精米する前のものです。玄米には血糖の上昇を抑える食物繊維や、糖質をエネルギーに変える働きのあるビタミンB1などが豊富に含まれており、白米と比べても、食物繊維は約6倍、ビタミンB1は5倍、鉄分は約2.5倍、カルシウムは約2倍の栄養価となっています。ところが、そのままの玄米は胃に負担がかかったり、食感や味感があまり好まれなかったり、玄米を摂取する家庭が少なくなりました。「玄米を摂取したいけど、ちょっと…」という方には、玄米と白米を混ぜて摂取されてもいいかもしれません。玄米と白米を1：1で混ぜたものや、5分づき米などでも玄米の良さを取り入れることができますし、食べやすくなります。特に、食事時間が21時以降になると、血糖が上昇しやすくなってしまいますので、そんな方にもおすすめです。しっかり、よく噛んで食べるようにしましょう。最近は、白米が主流になったことから、消化が良くなり、食べやすくなったのでよく噛まずに食べてしまい、ついつい食べ過ぎてしまうということにもなります。肥満の原因にもなりかねません。

最近では、玄米を美味しく炊ける電化製品も増えてきているので、体調が気になる方には玄米をお勧めします。今では、ご飯だけでなく玄米を使ったパンやお菓子、麺なども出てきました。いつも買うパンやお菓子ではなく、時には玄米を使用したものを選ぶなど、栄養価の高いものを選んでみてはいかがでしょうか。

